

柳川郷土研究会
会誌「水郷」付録

すいきょう

瓦版

發行所 柳川郷土研究会

柳川市本城町 113-1

發行人 武松 豐

編集責任者 金子俊彦



その二、卒業を間近にした高校生が恩師を招いて謝恩会を開き、その最後に「仰げば尊し」を歌つた。全員が涙。なみだである。先生は感動のあまり声も出ず、じつと下を向いておられたこんな生徒に最近問題のいじめが起ころうか。恐らく、先生の有された人生観と生徒愛・教育熱心さが素直な生徒達に素晴らしい影響を与えたと察せられる。その点「聖職」の二字も、「いじめ」問題が深刻な状況となつてゐる。今こそ弱いものには手をのばして過去の日本人の美点を取りもどさなければならぬと思つた。
(土竜)

きき
二題。その一、数少くなつたマタギの生態が放映されたが、「必要な時
必要なものを、必要なだけ、山の神のお許しをえて頂く」と敬虔な祈り
をしたマタギのあり様に感動した。
必要以上に金銭を求め、遂にお縄を頂戴した有名人は何と思うだろうか
「人生に飛躍無し、されど加速度あり」と指導された仏教の老師の言葉
が思ひだされた。一步一歩、踏みしめ

テレビで感動